

大垣城跡・城下町出土の漆器

ぶげやしき

展示した漆器は、武家屋敷の敷地内で出土したものです。

まきえ

表面には蒔絵の装飾が施されていますが、木材はブナ属とト

たんぶん

かきしぶ

チノキで、炭粉と柿渋の下地の上に赤色漆が塗られており、

安価な大量生産品と考えられます。17世紀後半の武家は、幕府からぜいたくを禁止されていましたが、こうした日用品からも、そうした社会背景がうかがえます。



漆器出土状況（大垣城跡・城下町）